



コミュニティ・スクールだより

令和6年6月26日

令和6年度第2回目の協議会を開催しました



6月12日(水)に令和6年度第2回学校運営協議会が開催されました。

会のはじめに、校長が本年度学校運営の基本方針を確認しました。(基本方針は、昨年度第4回の学校運営協議会で承認されています。)また、本年度より2年間の予定で、浜松市教育委員会に研究校として指定された報告も行いました。(研究主題(仮)「温かな学校・学級風土があふれる楽しい授業づくり」)

委員の皆さんには、以上の点を踏まえ、参観会を参観していただきました。

《第2回学校運営協議会 式次第》

- 1 校長挨拶、校内視察の視点
- 2 校内視察
- 3 会長挨拶
- 4 議長の選出
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議
 - (1) 参観会視察について
 - (2) 本年度教育の重点について「見つめる力」「関わる力」
 - (3) 課題の整理と改善の方向性について
 - (4) 学校評価について
- 7 報告
- 8 連絡



《熟議》



学校運営協議会委員



学校職員

(1) 参観会視察について

手を挙げて自分の意見を言える子が多いと感じました。どの学級も和気あいあいとした雰囲気がありますね。

保護者に声を掛けたところ、先生方の仲の良さが伝わってくると言っていました。



研究で取り組んでいる「温かな学校風土・学級風土」を作るためには、まず職員間の雰囲気が良いことが大切です。子供たちは授業の中で、間違ったらどうしようという気持ちから発言できないことがあります。まちがえても受け入れてもらえる温かな学校風土、学級風土を目指していきたいと思います。

高学年の保護者は遠慮がちに遠くから参観して
いました。もっと保護者と子供が関わって一緒
にやれる授業があるといいですね。

次回の参観会では、保護者が参加で
きるような授業を呼び掛けたいと
思います。

家では子供とじっくり向き合う時間がない家庭もあるかもしれないが、学校では学校の、
家庭では家庭の温かさが感じられるといいと思います。

保護者には、子供が頑張っている姿を家庭でたくさんほめてあげてほしいですね。

(2) 本年度教育の重点について「見つめる力」「関わる力」

自分の意見を言える
子供が育っていると
感じました。

成長していく中で、落ち着きが出て年下の子の面倒を見るよう
になりますね。異年齢同士の関わりも上手にできていると感じ
る機会が増えています。

キャリア教育では、学んでいることが「将来につながる意味のある事だ。」と実感できる
ようにしていきたいと考えています。

(3) 課題の整理と改善の方向性について

以前行っていた「ふるさと交流」のような
交流はなくなったのですか。

子供たちが自分の未来を自分で切り開
いていけることが大切ですね「かかわる
力」を育てるためには、他校の子供との
交流はとても良いと思います。

「ふるさと交流」はありませんが、この
2年間、4年生が春野町の方々と交流し
ています。また、先日は水窪小学校の児
童が本校に来て一緒に勉強しました。今
後も様々な経験ができるような機会を
設けていきたいと考えています。

(4) 学校評価について

本年度もグランドデザインに示した重点目標を、学校評価の項目とします。グランドデ
ザインに示されている目標は、高学年の目標なので、低・中学年には、それぞれに示し
た目標を使います。保護者には、自分の子供の姿で回答していただきます。その結果を
今後の改善に生かしていきます。

7 報告

- 学校から依頼があった5、6年生家庭科学習ボランティアを探しています。(学校支援 CD)
- 刈エト浜松にたくさんの子供が来ている。これからも子供たちの居場所になっていけたらと思っています。(オブザーバー)

8 連絡

- 次回 第3回学校運営協議会開催日程確認 9月9日(月) 9:00

【その他】

- 学校運営協議会はいつでも傍聴できます。御希望の方は、学校まで(452-3137)お知らせください。